

和歌山の～和歌山市・岩出市・紀の川市・海南市～

医療機関情報誌

ご自由におとり下さい

FREE

ご近所ドクター

BOOK

2015. Spring



保存版

安心・頼れる かかりつけ医を見つけよう

先生の素顔に大接近インタビュー



あなたのご近所の
病院、医院、歯科医院などの先生が登場!!

地域別でスグに探せるエリアマップ付き

ばど

発行●株式会社テレビ和歌山
和歌山市栄谷151



患者様の立場に立った医療の提供を心がけ、スタッフ同士明るくコミュニケーションを取っています。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13:30~17:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 17:00~19:00 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |

※但し、救急はこの限りではない
※診療科により実施日は異なる ※1 整形外科のみ



保田昇平理事長
O型/蠍座

患者様の立場で早期の社会復帰をサポート 二次急性期医療にも取組み地域医療貢献を目指す

当院ではスタッフ一人ひとりがやりがいを持ち、働きやすい職場環境を整えることが患者様にご満足いただける医療の第一歩だと考え、スタッフ各自が患者様の立場に立ち、できるだけ早期に社会復帰していただける医療やケアに努めております。診療科目は整形外科をはじめ、外科、胸部外科、内科、呼吸器内科、循環器内科、老年内科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科を設置しております。

また、病状のみならず退院後のライフスタイルを患者様ご家族様と共に考え、最善の治療を目指していきます。ベッド構成にも工夫を凝らし、一般急性期病棟(60床)のほか、集中的な機能回復訓練を目的とした回復期リハビリテーション病棟(60床)を配置。さらに、急性期治療終了後の在宅復帰支援に力を入れた地域包括ケア病床(30床)を設置し、病状に応じた病棟で充実した医療を受けていただける環境づくりに注力しています。

内科では高血圧症をはじめ、65歳以上の方の加齢に伴う疾患などを診療する「老年内科」を設置しております。また、睡眠時無呼吸症候群の検査や治療にも対応。循環器内科においては外科との連携のもと、ペースメーカーの植え込み・電池交換手術などにも対応しております。

さらに二次救急医療にも注力し、現在は年間1000件を超える救急対応を行っています。救急科はもとより診療科の枠を越えたチーム体制で救急患者様に対応するため、医師やスタッフ同士の連携や密なコミュニケーションを心がけています。和歌山県の三次救急の後方支援病院としての役割を果たし、二次救急医療機関の要となることを目標に、今後も救急科の精進に尽力します。

地域医療の中核を担う病院を目指し、スタッフ一丸となつて質の高い医療の提供に努めてまいります。



南海「和歌山市駅」から徒歩5分で、紀の川に面した立地にあります。

緊急自動車を配備し 二次急性期医療に 一層注力します

救急科を立ち上げた当院では、二次急性期医療に一段と注力すべく緊急自動車を配備しております。一刻を争う患者様のため、自院救急車の効果的な活用に尽力し、地域の救急医療への貢献を目指します。



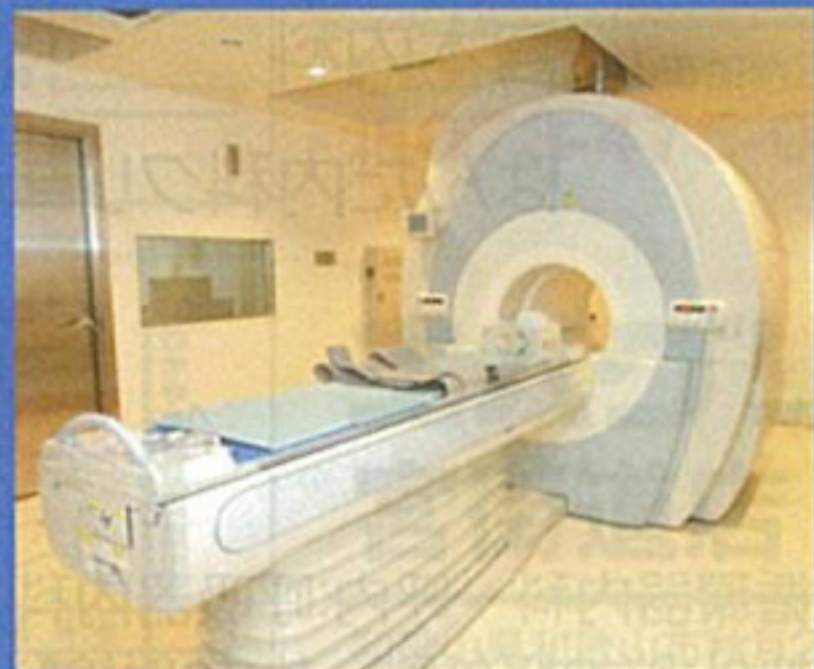
骨粗しょう症の 予防・治療を目指す 骨密度計測機器を導入

2種類のX線を用いた骨密度測定装置を導入しております。骨成分を測定する方法で、骨粗しょう症の診断や、骨折危険性の評価が可能です。検査結果はグラフと数値で表示されます。



より良い検査を目指し 静音を重視した MRIを導入

磁気の利用して臓器や血管を撮影する検査機器で、放射線は使用しません。当院では検査時の作業効率を図った機器を導入し、入室から退室までの総検査時間の短縮にも努めています。



昨年整形外科部長に就任した樋口直彦先生。年間250件以上の整形外科手術症例を持ちます。



栄養科では、主治医の意見も柔軟に取り入れながら美味しい食事づくりに努めています。

二次救急からリハビリまで 多様な形で地域医療に貢献し 和歌山の中核を担う病院へ

医療法人やすだ 堀口記念病院

● 整形外科・胸外科・呼吸内科・循環内科・リハビリ・麻（担当医：石田岳）救急老人

保田 昇平 理事長



整形外科専門から 全身のケアに対応する病院へ

2012年に「堀口整形外科病院」から名を改め、湊本町に新築移転し新たな一歩を歩み出した堀口記念病院。市民のニーズに応えるため、外科や内科などの増科を行ってから3年目を迎える。理事長の保田先生は自らも外来に立つかたわら、地域のニーズに沿った病院づくりを推し進める。「もともと整形外科単独の病院だったのですが、患者様の多くが高齢で心臓や呼吸器系の疾患、糖尿病などの合併症をお持ちでした。当時は大学病院の内科の先生に非常勤で診療していただいていたのですが、私自身が呼吸器内科専門ということもあり、全身の疾患に対応できる病院を目指して移設をきっかけに増科に踏み切りました。現在では整形外科に加え外科、胸部外科、内科、呼吸器内科、循環器内科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、老年内科を増設し、禁煙外来の診療も行っております。60年にわたり、整形外科専門の病院として地域医療に努めてきた当院の強味でもある整形外科・リハビリテーション科にも注力しながら、全身のケアを任せていただける病院として皆様に貢献できれば嬉しいです」。



子育てをしながら働く職員をサポートするため院内保育施設を設置。こうした取組みも職員のやりがいにつながっている。



1.全150床を誇る病床は、1病人あたり8平米のスペースがとられ、平均の3.8平米よりもゆとりがたっぷりなつくりになっている。2.「ベッドから離れて食事を楽しんでいただきたい」という思いで作られたダイニング。紀の川に面し眺めが抜群。



スタッフステーション

スタッフからの Message

**医療のプロとしての責任と自覚を持ち
患者様一人ひとりに寄り添いながら
信頼されるケアを目指します**

患者様を自分の家族だと思い、お一人おひとり丁寧に笑顔で接することを心がけています。スタッフ同士も密に明るくコミュニケーションを取り合い、チームでのより良い看護にも努めています。「あなたに看護してもらえて良かった」と言ってもらえるよう、スタッフ一丸となり質の高いケアを目指しています。

教えて！先生

睡眠時間は充分にとっているのですが、日中も眠気を感じます。これは病気ですか？

Answer

充分な睡眠時間をとっていても日中に眠さやしんどさを感じる方は睡眠時無呼吸症候群の可能性がります。当院では簡易検査のほかに治療を念頭に置いた一泊二日の検査入院もお勧めしています。場合によってはCPAP療法と呼ばれる治療を行っています。

保田昇平 先生

【プロフィール】O型／蠍座／近畿大学医学部卒／和歌山市出身／臨床内科医会の認定内科医、呼吸器内科医

【休日の過ごし方】最近では寝ていますが、子どもと一緒に遊ぶことが多いです。またライブハウスに行くのも好きで、KANA-BOONやシナリオアート、はせがわかおりのライブに参加しています。

【座右の銘】「困った時はお互い様」。これに尽きます。

在宅復帰支援体制を整え リハビリテーションにも注力

早期治療を目指し、骨折などの手術適応の患者に対しては可能な限り入院翌日に手術可能な体制を整えるなど、手術の待機による負担軽減にも積極的に取り組む同院。リハビリテーションにも注力し、集中的な機能回復訓練を目的とした回復期リハビリテーション病棟60床を保有する。さらに昨年の11月には地域包括ケア病床30床を開設。急性期治療が終了し症状が安定した患者を中心に、在宅復帰支援などを行っている。「患者様が日常生活に戻れるような手厚いリハビリを行うことがモットーです。当院の回復期リハビリテーション病棟は365日対応しており、充実した設備のもと毎日リハビリを実施しています。スタッフの積極的で献身的な取り組みにより、現在在宅復帰率は7割を越えています。『こんなに良くなるとは思わなかった』と言ってくださる患者様もおられるので、喜んでいただけているのではと思っています」。

チーム医療体制を整え 地域へ一層の貢献を目指す

患者の立場に立ち、地域に根ざした病院として、さらなる役割が求められている同院。二次急性期医療もそのうちのひとつで、新設移転とともに増設された救急科では、救急患者の受入れ件数を年々増加させている。「もともと和歌山市内の救急医療体制として二次救急が枯渇していたこともあり、二次救急医療に対応することを目的とし救急科を増科しました。当院が二次救急医療を引き受けることで、三次救急医療を行う高度専門医療機関はその役割に徹することができ、必要に応じて病々・病診連携をとり、自院の救急車も活用させながら和歌山の地域医療に少しでも貢献できればと思っています」と先生。さらに今後の展望に関して「現在の院の方向性を深め、突き進んでいきたいと考えています。急性期医療の分野に関しては、和歌山市を中心とした医療圏を支えるためにも後方支援病院としての病院機能強化に二層努め

てまいります。そのためにはチームで患者様を診療できる体制をさらに充実させていきたいですね。現在も診療科ごとに定期的なカンファレンスを開催しているほか、診療科を越えて意見交換を活発に行うなど風通しの良い病院づくりに努めていますので、こうした取り組みを続けながら互いに協力できる体制を整えていきます。また、スタッフ一人ひとりの成長を促進させていくことも同じく大切です。個々の能力とモチベーションを上げることが、より質の高い医療の提供につながると信じています。スタッフには積極的に勉強する機会に触れてもらい、全員の能力が少しずつでも上がってくれば嬉しいです。地域住民の皆様にも信頼される病院であり続けるためにも、地元和歌山に根ざしながら日本一働きやすい病院を目指して邁進します」。市民のニーズに寄り添いながら、様々な医療・ケアの提供を行っている堀口記念病院。地域のなかでより一層大きな役割を担うであろう存在に、ますます期待が高まる。